

# エドウィン・ライマンさん (憂慮する科学者同盟) 講演会 「プルサーマル (MOX 燃料) の危険性について」

福井県の高浜原発3・4号機ではウラン燃料より危険なプルサーマル (MOX 燃料) が使用される予定ですが、福島事故後の国の新規規制基準では、具体的にプルサーマル (MOX 燃料) に関するの検討や評価がどのようにされているのか不明です。(関電の審査書には記載が1回しか登場していません。)福島事故の教訓を踏まえないまま、プルサーマルに突入しようとしています。



エドウィン・ライマン

憂慮する科学者同盟 (UCS) の世界安全保障プログラム上席研究員。核管理研究所 (NCI) 元所長。核不拡散、核兵器や放射性物質によるテロ、原子力事故の研究を専門とする。核物質管理学会 (INMM) の会員であり、連邦議会や米国原子力規制委員会 (NRC)、米国の原子力の将来に関する専門委員会 (ブルーリボン委員会) で何度も証言を行っている。共著に福島原発事故の本、Fukushima: The Story of a Nuclear Disaster (The New Press, 2014) がある。

7/20  
13:30~16:30  
同志社大学  
良心館411号  
通訳あり

- ・ウラン燃料より上まわる MOX 燃料使用プルサーマルの事故の危険性
- ・事故時の増大するリスク
- ・冷却剤喪失事故時に関する実験の不足
- ・使用済 MOX 燃料貯蔵の問題など

日時：2015年7月20日 (月祝) 13時30分から16時30分

会場：同志社大学 良心館411号 (RY411)

京都市上京区今出川通烏丸東入 同志社大学今出川校地 良心館

講師：エドウィン・ライマン

資料代：一般500円・学生300円

(どなたでも参加ご自由です。入場は先着順になります。)

主催：グリーン・アクション

連絡先：グリーン・アクション

TEL: 075-701-7223

FAX: 075-702-1952

メール: info@greenaction-japan.org

